

土と向き合い、土と会話する
 日々の研さんが生みだす漆喰しっくいの美



平野 甚九郎さん

(矢作4)

プロフィール

名前 ひらの じんくろう

誕生日 4月14日

出身地 能登町

野々市に住んで約33年

趣味 木工

「納得するものができるまで何度でもやり直します」と話すのは、平野甚九郎さん。中学を卒業してから46年間、左官の道一筋で生きてきた。長年の歳月で培われた卓越した技能が認められ、昨年11月に「現代の名工」に選出。制度が始まって50年、県内で通算88人目の荣誉となりました。

土の世界へ

中学3年生の時、父が病を患いました。私は4人兄弟の長男でしたので、家計に負担を掛けまいと思い、進学を諦めて左官の世界に飛び込んだのがきっかけです。職人の世界は「見て覚えろ」「技を盗め」が基本。休みも月2回とつらかった

ですが、負けまいと思いつ張りました。左官は自然との闘いです。土は温度や湿度に大きく影響されるので、乾燥や凍結などに細心の注意を要します。3年半で年季明けと言われますが、私は8年でようやく一人前になったと感じています。

伝統の継承を願って

南紀白浜ホテル川久の施工、総持寺祖院の修復、金沢城五十間長屋の復元、どの仕事も思い出深いです。現場で学び、多くの名工の技に感銘を受けました。今は指導する立場にもなりました。伝統ある工法をぜひ若い人にも引き継いでほしいと願っていますし、その一助になりたいです。



今月の表紙

12月のある日、朝ふと窓の外を見ると雪で真っ白！これは写真を撮らねばと、普段より30分早く家を出て、早朝のあらみや公園でツバキを撮影しました。雪をかぶったツバキもまた風情があり、サミット開催の春を今か今かと待ちわびているように見えました。その日の午後にはすっかり花に積もった雪も溶けてしまったので、ほんのひと時見られた光景を撮影できて良かったです。

野々市検定回答

(問題は10ページ)

【第1問】C 創業塾

市商工会が主催する、創業をお手伝いする講座が今年度から始まりました。今年度は、17人の受講者が夢への一歩を踏み出しました。

【第2問】A プレスレット

送別式にて、友好の証に手作りプレスレットが贈られました。児童らにとって思い出深いお土産となったことでしょう。

【第3問】D ichi 椿

白山の伏流水と、市内で生産された酒米「五百万石」を使用して、市内の酒蔵で作られています。

編集後記

●2017年の幕開けです。新しい1年では、どんな広報野々市が生まれるでしょうか？毎年多くの人と出会い、温かい協力を得て一緒に作り上げている広報紙。じつは広報3年目の今でも、インタビューなどの際に緊張で体がこわばることも…。けれど取材に応じてくれる皆さんの物腰が柔らかく、とても優しく、反対に緊張をほぐしてもらったりしています。お話に学び、人柄に学び、野々市人の素敵なところを伝えられるよう、本年も精進していきたいと思えます。(C・N)

●毎年すっかり恒例になったふるさとCM大賞。幼いころよくテレビで見えており、大人になってまさか自分が作ると思いませんでした。経済紙の「住みよさランキング」で毎年上位に入賞する野々市市。その住みよさを伝えるために、今年度は「笑顔」をテーマに制作しました。CMには人間だけでなく犬や猫など動物の笑顔も収録。撮影するなかで、たぐさんの笑顔に触れ、初めてのCM制作はハッピーな気持ちで終えることができました。(M・K)

テレビ広報 金沢ケーブルテレビネット

デジタルハイビジョン009ch

のいちふれあい通信

8:00~8:30、18:00~18:30

ラジオ広報 えふえむ・エヌ・ワン

FM放送 76.3MHz

パソコン、スマートフォンのアプリでも聴けます！

FM-N1ホームページからクリック！

▶ <http://fmn1.jp/>

ホームタウン野々市

月~金 / 6:30~7:00、11:15~11:55、16:00~17:00